



令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事

金抜設計書

工事番号 2025042000

工事名 令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事

施工場所 加東市上三草地内

兵庫県 加東市

[illegible]

総括情報表

単価適用年月日	0-07. 06. 01 (0)		
	今 回	前 回	
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日補正	06 舗装 32 一般交通影響有り (2) - 1 02 補正なし 1.00 01 計上する 05 対象外		

工事費内訳書

頁0-0002/0036

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路修繕							
舗装工							
路面切削工							
路面切削							
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業無し							施工 第0-0001号内訳表
		126		m2			
殻運搬(路面切削)							
殻運搬(路面切削) ; DID区間->無し L=7.5km以下							施工 第0-0002号内訳表
		7		m3			
殻処分							

工事費内訳書

頁0-0003/0036

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 アスファルト殻 ；投棄量 7 m3						
	1		式			施工 第0-0003号内訳表
橋面防水工						
橋面防水						
塗膜系防水；(補修)						
	226		m2			施工 第0-0004号内訳表
歩道部 導水パイプ 耐熱樹脂製 Φ10						
	47		m			施工 第0-0005号内訳表
車道部 導水パイプ 耐熱樹脂製 Φ15						
	60		m			施工 第0-0006号内訳表
成形目地材 幅30mm 厚5mm						
	160		m			施工 第0-0007号内訳表
舗装打換え工						
舗装版破碎						

工事費内訳書

頁0-0004/0036

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
インターロッキングブロック撤去工 撤去 [取壊し]						施工 第0-0008号内訳表
	100	m2				
積込(ルーズ)						
積込(コンクリート殻)						
	6	m3				
碎石撤去						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外						施工 第0-0010号内訳表
	20	m3				
殻運搬						
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし ; D I D区間無し L=8.0km以下						施工 第0-0011号内訳表
	6	m3				
土砂等運搬;(小規模) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ; DID区間->無し						施工 第0-0012号内訳表
	20	m3				
殻処分						

工事費内訳書

頁0-0005/0036

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	処分費 [インターロッキングブロック] ; 投棄量 6 m3						
		1		式			施工 第0-0013号内訳表
	処分費 [クラッシュラン] ; 投棄量 2 0 m3						
		1		式			施工 第0-0014号内訳表
基層							
	基層(車道・路肩部) t = 3 0 mm 密粒度アスコン[再] (13) ; (2. 35)						
		126		m2			施工 第0-0015号内訳表
	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 ; コンクリートポンプ車打設						
		26		m3			施工 第0-0016号内訳表
表層							
	表層(車道・路肩部) t = 3 0 mm 密粒度アスコン[再] (13) ; (2. 35)						
		126		m2			施工 第0-0017号内訳表
	表層(歩道部) t = 3 0 mm 細粒度アスコン[再] (13) ; (2. 15)						
		100		m2			施工 第0-0018号内訳表
区画線工							

工事費内訳書

頁0-0006/0036

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工						
溶融式区画線						
区画線設置 [溶融式] 実線 15cm t=1.5mm						
	45		m			施工 第0-0019号内訳表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	12		人日			施工 第0-0022号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						

工事費内訳書

頁0-0007/0036

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費							
				式			
建設機械運搬費							
				式			
	建設機械運搬 [車載] 路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] ；運搬距離 2 8. 7 km						施工 第0-0023号内訳表
		1		式			
共通仮設費率分							
				式			
純工事費計							
現場管理費							
				式			
工事原価計							
一般管理費等							
				式			
工事価格計							

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
総 計				式			

路面切削

[規格 1] 全面切削6cm以下(4000m2以下)

[規格 2] 段差すりつけの撤去作業無し

[摘要]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0009/0036

1 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	路面切削機 切削幅2.0m [ホイル式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)]				路面切削機 [ホイル式・廃材積込装置付・排出ガス(第3次)] 2.0m×23cm			
	K2	路面清掃車 ホッパ容量1.5m3 [ブラシ・四輪式]				路面清掃車 [ブラシ・四輪式] ホッパ容量1.5m3			
	K								
	R1	普通作業員				普通作業員			
	R2	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4	特殊作業員				特殊作業員			
	R								
	Z1	軽油 ハートル給油				軽油			
	Z								
						計			
	積算単価	=							

[規格 1] 全面切削6cm以下(4000m2以下)

〔規格2〕 段差すりつけの撤去作業無し

[摘要]

頁0-0010/0036

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0011/0036

1

m3 当り

[illegible]

施工 第0-0003号内訳表

処分費

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0004号内訳表

塗膜系防水

当り

[illegible]

施工 第0-0005号内訳表

10	m	当り
----	---	----

[規格 1] 耐熱樹脂製 Φ10

[規格 2]

[摘要]

10	m	当り
----	---	----

[illegible]

施工 第0-0006号内訳表

10	m	当り
----	---	----

[規格 1] 耐熱樹脂製 Φ15

[規格 2]

[摘要]

10	m	当り
----	---	----

[illegible]

施工 第0-0007号内訳表

10	m	当り
----	---	----

[規格 1] 幅30mm 厚5mm

[規格 2]

[摘要]

[illegible]

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0017/0036

〔規格 1〕撤去〔取壊し〕

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

積込(コンクリート殻)

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0018/0036

[摘要]

1

m3 当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(2014年)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 0.8/0.6m3			
	K							
	R1	普通作業員			普通作業員			
	R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R							
	Z1	軽油 パトロール給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価 =							

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

頁0-0021/0036

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0022/0036

〔規格 1〕〔インターロッキングブロック〕

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0023/0036

〔規格1〕〔クラッシュラン〕

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

〔規格 1〕 $t = 30 \text{ mm}$

〔規格 1〕 $t = 30 \text{ mm}$

[摘要]

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
K3	ロードローラ 質量10～12 t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

基層(車道・路肩部)

頁0-0025/0036

m2	当り
----	----

[illegible]

コンクリート
[規格 1] 無筋・鉄筋構造物

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0026/0036

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機劣材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	コンクリートポンプ車 圧送能力90～110m3/h [トラック架装・ブーム式]					コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 90～110m3/h			
	K									
	R1	普通作業員					普通作業員			
	R2	土木一般世話役					土木一般世話役			
	R3	特殊作業員					特殊作業員			
	R4	運転手(特殊)					運転手(特殊)			
	R									
	Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%					軽量コンクリート 設計強度：18N/mm2			
	Z2	軽油 パトロール給油					軽油			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

コンクリート

[規格 2]

施工 第0-0016号内訳表

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0028/0036

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含				アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2		タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
	K3		ロードローラ 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含				ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3		特殊作業員				特殊作業員			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン TOP13			
	Z2		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用				アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
	Z3		軽油 パトロール給油				軽油			

表層(車道・路肩部)

頁0-0029/0036

m2	当り
----	----

[illegible]

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 細粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0030/0036

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		アスファルトフィニッシャ 舗装幅1.4～3.0m [クローラ型]				アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 1.4～3.0m			
	K2		振動ローラ(舗装用) 質量3～4t [搭乗コンバイント式] 排出ガス対策型含				振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバイント型 3～4t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		細粒度アスコン TOP13 t=40mm				再生細粒度アスコン TOP13			
	Z2		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			

表層(歩道部)

[摘要]

頁0-0031/0036

[illegible]

施工 第0-0019号内訳表

区画線設置 [溶融式]

[規格 2]

[摘要]

m

当り

[illegible]

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0033/0036

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

m

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0034/0036

区画線設置〔溶融式〕 材料

〔規格1〕		〔規格2〕		〔摘要〕		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=1		実線15cm			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=2		未供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=1		白			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

施工 第0-0022号内訳表

交通誘導警備員 B

人目 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0036/0036

建設機械運搬 [車載]

[規格1]路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m]

[規格2]

[摘要]

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設機械運搬費 (往路)		台			
建設機械運搬費 (復路)		台			
<< 1 台当りの金額 >>		台			
<< 1 式当りの金額 >>		式			
<< 1 式当り (配分額) >>		式			
単 位 当 り	1	式			
A 機械種別		=1	路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] 排出ガス対策型(第3次基準) 運搬距離(km)		
B 排出ガス対策区分		=4			
C 運搬距離(km)		=28.7			
D 使用台数(台)		=1	使用台数(台)		
E 経費配分率		=1	経費配分率		

数 量 計 算 書

数 量 総 括 表

工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事				事業区分(レベル0)		道路維持・修繕
					工事区分(レベル1)		道路修繕
工種・種別・細目			算 式		数 量	単位	摘 要
本工事費							
道路修繕							
舗装工							
路面切削工							
路面切削							
路面切削	全面切削6cm以下(400m2以下) 段差すりつけの撤去作業無し		126.43	= 126.4	126	m2	
殻運搬(路面切削)							
殻運搬(路面切削)	DID区間→無し L=7.5km以下		7.59	= 7.6	7	m3	
殻処分							
処分費	アスファルト殻 投棄量7m3				1	式	
橋面防水工							
橋面防水							
塗膜系防水(補修)			126.43+100.30	= 226.73	226	m2	
歩道部導水パイプ	耐熱樹脂製 Φ10		47.31	= 47.31	47	m	
車道部導水パイプ	耐熱樹脂製 Φ15		60.97	= 60.97	60	m	
成形目地材	幅30mm 厚5mm		63.85+96.59	= 160.44	160	m	
舗装打換え工							
舗装版破碎							
インターロッキングブロック撤去工	撤去 [取壊し]		100.30	= 100.3	100	m2	

数 量 総 括 表

工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事				事業区分(レベル0)		道路維持・修繕
					工事区分(レベル1)		道路修繕
工種・種別・細目		算 式			数 量	単位	摘 要
	積込(ルース)						
	積込(コンクリート殻)						
		6.02	=	6.0	6	m3	
	砕石撤去						
	掘削	土砂 上記以外(小規模) 標準以外					
		21.28	=	21.3	20	m3	
	殻運搬						
	殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とこわし DID区間->無し					
		6.02	=	6.0	6	m3	
	土砂等運搬(小規模)	土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間->無し					
		21.28	=	21.3	20	m3	
	殻処分						
	処分費	[インターロッキング・ブロック] 投棄量6m3					
					1	式	
	処分費	[クッション] 投棄量20m3					
					1	式	
	基層						
	基層(車道・路肩部)	t=30mm 密粒度アスコン[再](13),(2.35)					
		126.43	=	126.4	126	m2	
	コンクリート(歩道部)	無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設					
		26.40	=	26.4	26	m3	
	表層						
	表層(車道・路肩部)	t=30mm 密粒度アスコン[再](13),(2.35)					
		126.43	=	126.4	126	m2	
	表層(歩道部)	t=30mm 細粒度アスコン[再](13),(2.15)					
		100.30	=	100.3	100	m2	
	区画線工						
	区画線工						
	溶融式区画線						

数 量 総 括 表

工事名				令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事				事業区分(レベル0)		道路維持・修繕		
								工事区分(レベル1)		道路修繕		
工種・種別・細目				算 式				数 量	単位	摘 要		
			区画線設置[熔融式]	実線 15cm t=1.5mm 白色								
	仮設工			45.00	=	45.0	45	m				
	交通管理工											
	交通誘導警備員											
	交通誘導警備員B(昼間)								12	人日		
共通仮設費												
	建設機械運搬費											
			建設機械運搬[車載]	路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] 運搬距離28.7km					1	式		

数量集計表

1) 橋面防水工 数量集計表

名称	仕様・寸法		単位	数量	備考
塗膜系防水	アスファルト系	車道部	m2	126.43	
		歩道部	m2	100.30	
導水パイプ設置	φ15, 耐熱性樹脂	車道部	m	60.97	
	φ10, 耐熱性樹脂	歩道部	m	47.31	
成形目地材	セロシルSSテープ 同等品以上：幅30mm	車道部	m	63.85	
		歩道部	m	96.59	
端部処理材	シルバーマッシュ同等品以上：幅150mm	車道部	m	63.85	
		歩道部	m	96.59	

2) 舗装打換え工 数量集計表

名称	仕様・寸法		単位	数量	備考
舗装撤去	路面切削	車道部	m2	126.43	t=60mm
	殻運搬及び処分(アスファルト殻)		m3	7.59	
	インターロッキングブロック撤去工	歩道部	m2	100.30	t=60mm
	積込（コンクリート殻）		m3	6.02	
	殻運搬及び処分(無筋コンクリート)		m3	6.02	
	掘削（クッション砂+クラッシュラン）		m3	21.28	
	土砂等運搬及び処分（クッション砂+クラッシュラン）		m3	21.28	
舗装復旧	〈表層〉アスファルト舗装 t=30mm	車道部	m2	126.43	再生密粒度As(13)
	〈基層〉アスファルト舗装 t=30mm		m2	126.43	再生密粒度As(13)
	〈表層〉アスファルト舗装 t=30mm	歩道部	m2	100.30	再生細粒度As(13)
	軽量コンクリート t=80～280mm		m3	26.40	

3) 区画線工 数量集計表

名称	仕様・寸法			単位	数量	備考
区画線	白色・実線	幅15cm/t=1.5mm	車道部	m	45.00	

数量内訳

1) 橋面防水工

- ・ 塗膜系防水 (アスファルト系)

図面より

車道部

$$A = 126.433 = 126.43 \text{ m}^2$$

歩道部

$$A = 50.152 \times 2 = 100.30 \text{ m}^2$$

橋面防水 計

$$\Sigma A = 126.43 + 100.30 = 226.73 \text{ m}^2$$

- ・ 導水パイプ設置

車道部 ($\phi 15$, 耐熱性樹脂)

$$L = 9.086 + 5.400 + (3.290 + 19.950) \times 2 = 60.97 \text{ m}$$

歩道部 ($\phi 10$, 耐熱性樹脂)

$$L = (20.050 + 3.605) \times 2 = 47.31 \text{ m}$$

- ・ 成形目地材 (セロシールSSテープ 同等品以上 : 幅30mm)

車道部

$$L = 10.500 + 5.500 + (3.925 + 20.000) \times 2 = 63.85 \text{ m}$$

歩道部

$$L = (22.345 + 3.605 + 20.050 + 2.295) \times 2 = 96.59 \text{ m}$$

- ・ 端部処理材 (シルバーメッシュ 同等品以上 : 幅150mm)

車道部

$$L = 10.500 + 5.500 + (3.925 + 20.000) \times 2 = 63.85 \text{ m}$$

歩道部

$$L = (22.345 + 3.605 + 20.050 + 2.295) \times 2 = 96.59 \text{ m}$$

2) 舗装打換工

- 路面切削

図面より

車道部

アスファルト舗装 $t = 60 \text{ mm}$

$$A = 126.433 \quad = 126.43 \text{ m}^2$$

- 殻運搬及び処分(アスファルト殻)

$$V = 126.43 \times 0.0600 = 7.59 \text{ m}^3$$

- インターロッキングブロック撤去工 $t = 60 \text{ mm}$

図面より

歩道部

$$A = 50.152 \times 2 = 100.30 \text{ m}^2$$

- 積込(コンクリート殻)

歩道部

$$V = 100.30 \times 0.06 = 6.02 \text{ m}^3$$

- 殻運搬及び処分(無筋コンクリート)

$$V = 100.30 \times 0.06 = 6.02 \text{ m}^3$$

- 掘削

クッション砂 $t = 30 \sim 50 \text{ mm}$

$$v1 = 41.712 \times 2 \times 0.030 = 2.50 \text{ m}^3$$

$$v2 = 8.440 \times 2 \times 0.040 \text{ (平均)} = 0.68 \text{ m}^3$$

$$\Sigma = 3.18 \text{ m}^3$$

クラッシャーラン $t = 0 \sim 220 \text{ mm}$

$$v1 = 41.712 \times 2 \times 0.197 \text{ (平均)} = 16.43 \text{ m}^3$$

$$v2 = 8.440 \times 2 \times 0.099 \text{ (平均)} = 1.67 \text{ m}^3$$

$$\Sigma = 18.10 \text{ m}^3$$

掘削 計

$$\Sigma V = 3.18 + 18.10 = 21.28 \text{ m}^3$$

- 土砂等運搬及び処分(クラッシャー)

$$\Sigma V = 3.18 + 18.10 = 21.28 \text{ m}^3$$

・ 舗装復旧工

図面より

車道部

〈表層〉 アスファルト舗装 t= 30 mm

〈基層〉 アスファルト舗装 t= 30 mm

$$A = 126.433 \quad = 126.43 \text{ m}^2$$

歩道部

〈表層〉 アスファルト舗装 t= 30 mm

$$A = 50.152 \times 2 = 100.30 \text{ m}^2$$

軽量コンクリート t= 280 mm

$$A = 41.712 \times 2 \times 0.280 = 23.36 \text{ m}^3$$

t= 80~280 mm (平均 180 mm)

$$A = 8.440 \times 2 \times 0.180 = 3.04 \text{ m}^3$$

$$\Sigma = 26.40 \text{ m}^3$$

3) 区画線工

白・実線 15cm t= 1.5 mm

$$L = 22.500 \times 2 = 45.00 \text{ m}$$

仕 様 書

特記仕様書

工事名 令和7年度 道路メンテナンス事業 陣屋橋橋梁補修工事
工事場所 加東市 上三草 地内
工期 令和7年10月31日まで

第1条 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）、「土木請負工事必携」、「土木工事施工管理基準」、「小型構造物標準図集」（兵庫県県土整備部）によるものとする。

第2条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1 工事用地区域外への立ち入り

請負者は、工事用地以外の区域へ立ち入りする場合は、必ず所有者の承諾を得ること。

2 関係機関との調整

地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明をし、施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。特に田植え、稲刈り等の耕作上重要な時期の作業については、作業工程に配慮すること。また、施工に先立ち、地下埋設物（上下水道、ガス、NTT、農水管、電気等）も十分調査し、必要に応じて関係機関と立会・調整を行うこと。

3 道路付属物並びに占有物件の処置

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と協議するものとする。

4 安全確保

請負者は、工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、共通仕様書第1編1-1-29 事故報告書の2に該当する場合は、監督員の指示により下記URLにアクセスし、事故報告様式に入力の上、監督員が指示する期日までに発注者に提出しなければならない。

ホームページアドレス <http://sas.ejcm.or.jp/>（建設工事事故データベース）

5 建設副産物について

1) 再生資源の活用

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2) 再生資源の利用の促進

請負者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

(1) 提出様式

本工事については、再生資源の活用促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

(2) 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書CDを監督員に提出するものとする。

3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受 入 等 諸 条 件	その他
As殻 (切削)	大林道路(株) 東条アスファルト混合所	7.0km	加東市天神1228- 39他		
インターロッキング ブロック	(株)西畑土建	7.9km	小野市船木町875 -132他2筆		Co殻(無筋) として計上
クラッシュラン	(株)池安	3.2km	加東市久米1017- 7他9筆		建設発生土 (は質土)と して計上

上表 3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地の搬出先については、積算条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではなく、請負者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、請負者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

4) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

6 交通誘導員の配置

交通誘導員については、交通誘導員A一名 交通誘導員B 1 2名を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

7 共通的工種

工期設定

工期は土・日曜日、祝日を含んでいる。

8 変更設計図面の作成

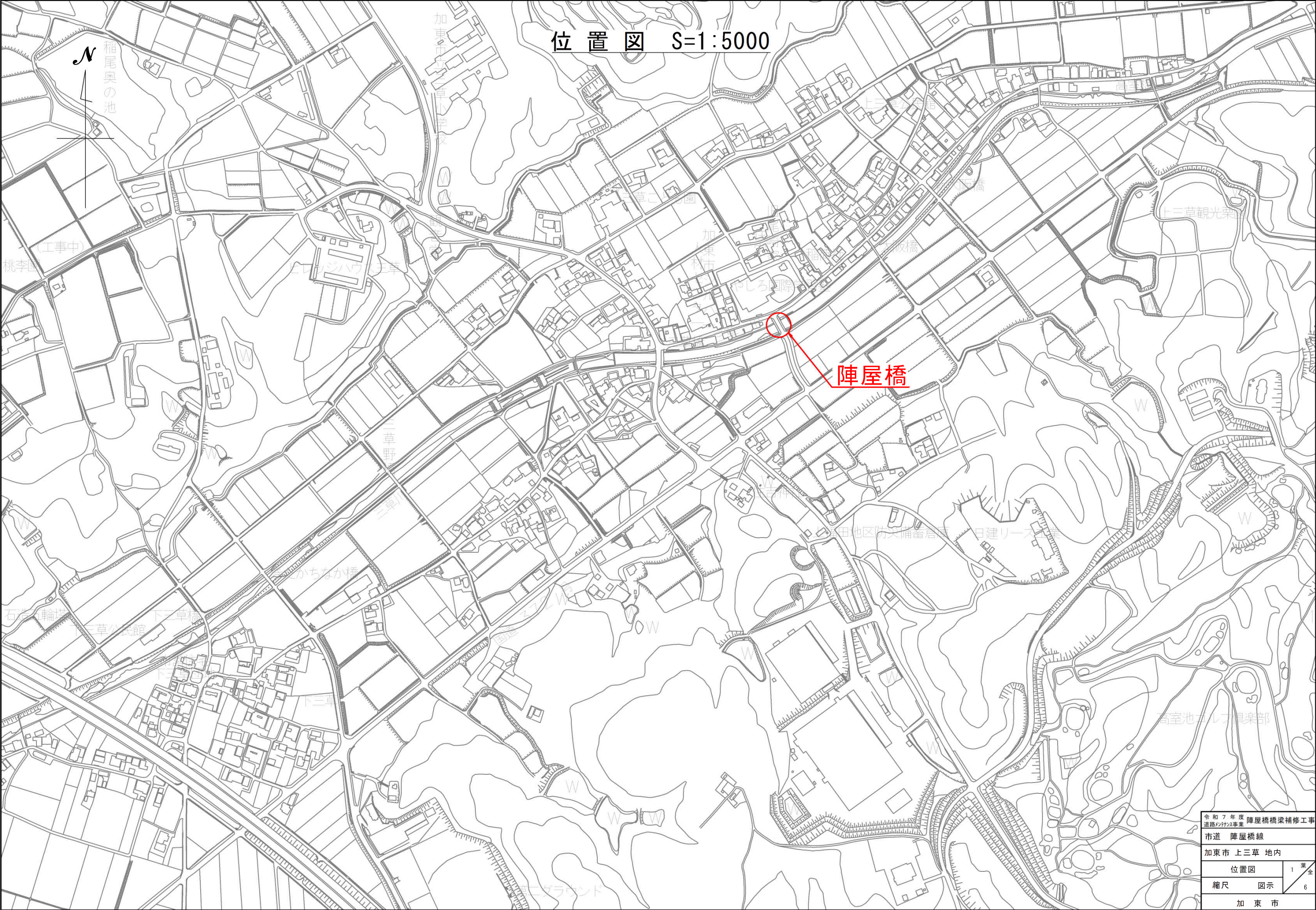
請負者は、設計変更が生じる場合、設計変更用の変更図面、変更数量表を作成し、紙1部と電子データを監督員に提出すること。

9 その他

- ・舗装撤去後、上縁定着切り欠き部で後埋めコンクリートの止水材に問題がある場合は、周囲をVカットし、エポキシ樹脂等でシーリングすること。
- ・コロナ対策として「建設業におけるコロナウイルス感染予防対策ガイドライン（令和2年5月14日版）」に準ずるものとする。
- ・特記仕様書及び共通仕様書・土木請負工事必携・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
- ・工事看板は下図を標準とする。



実 施 設 計 図



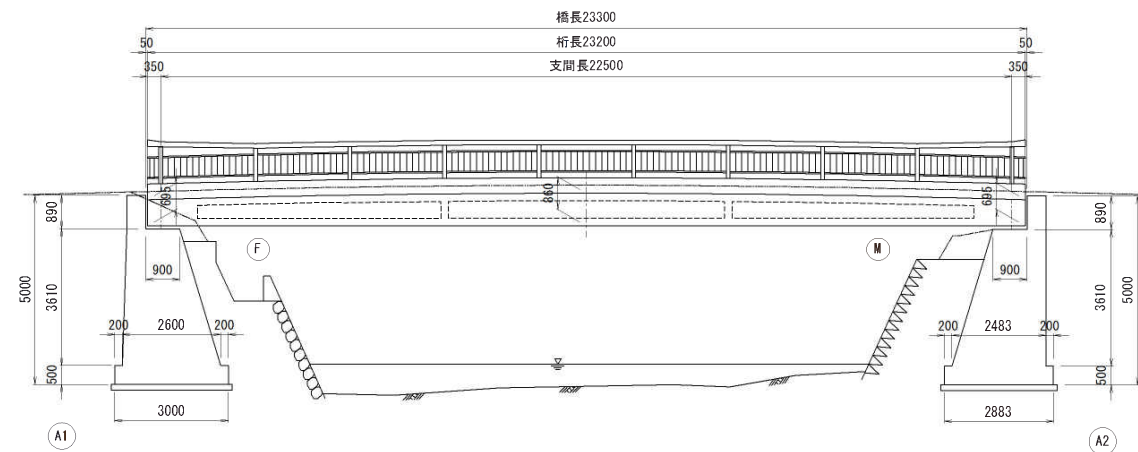
位置図 S=1:5000

陣屋橋

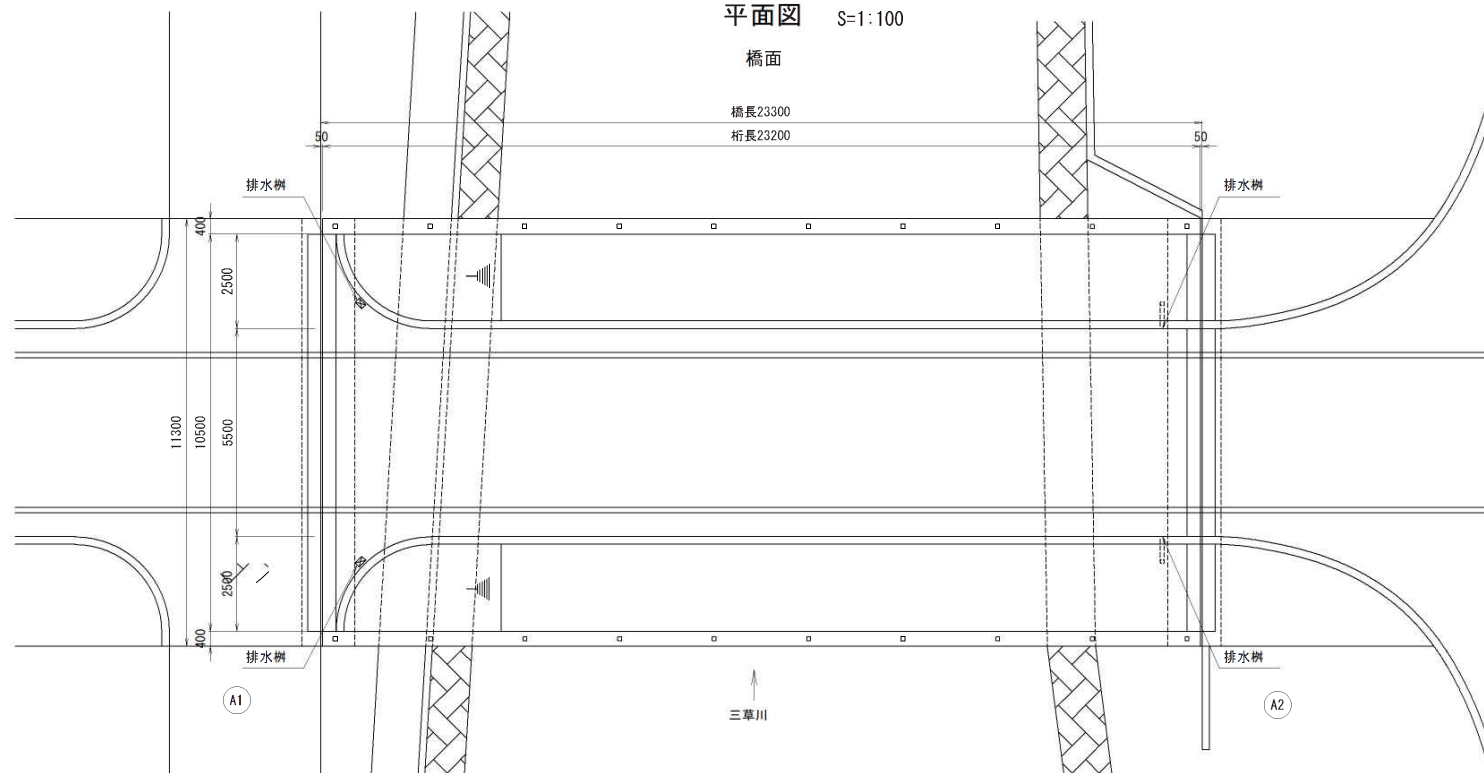
令和7年度 陣屋橋橋梁補修工事 道路設計作業		
市道 陣屋橋線		
加東市 上三草 地内		
位置図	1 葉全	
縮尺	図示	6
加 東 市		

陣屋橋 橋梁一般図

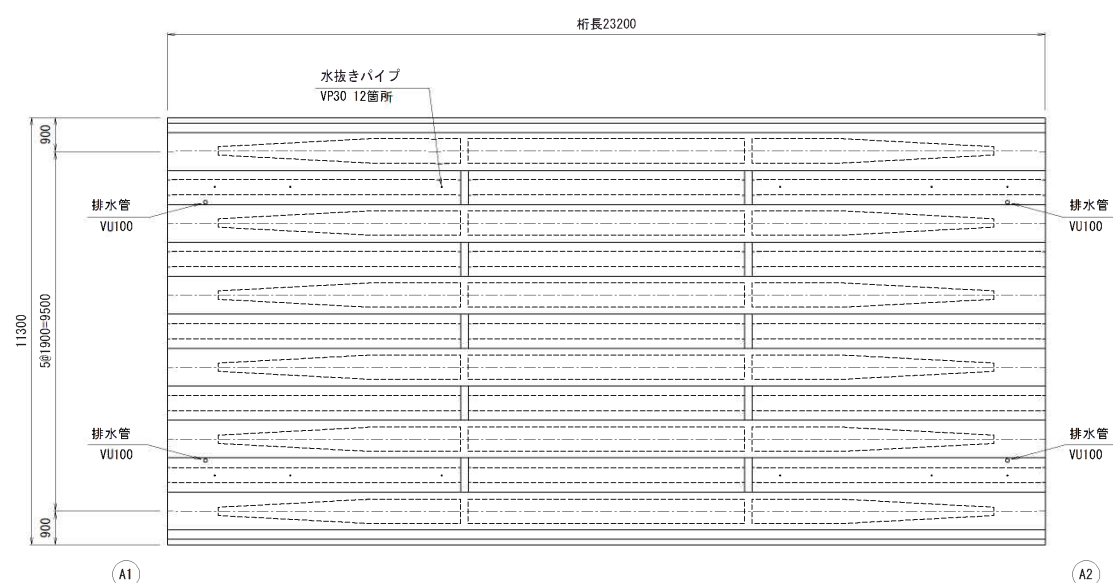
側面図 S=1:100



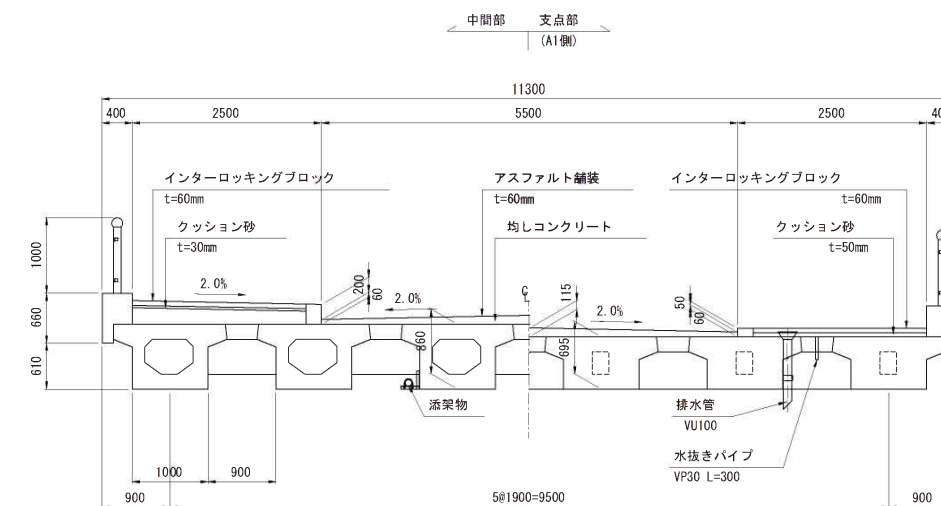
平面图 S=1:100



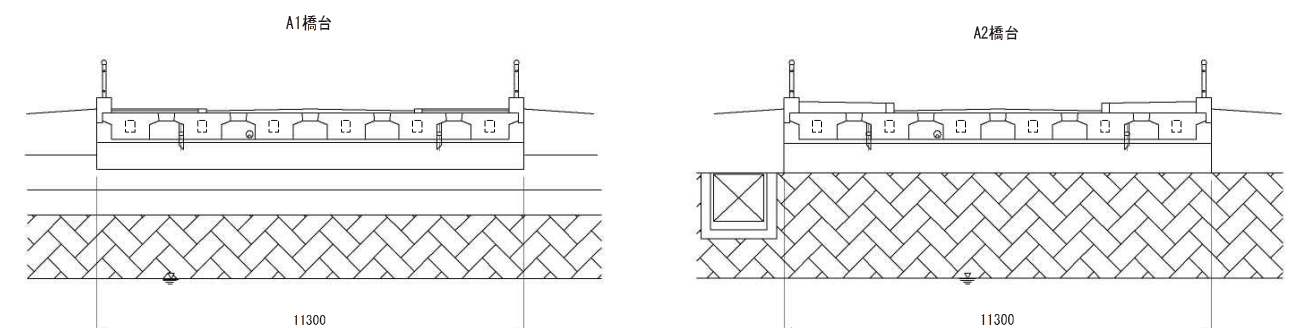
桁下面



上部工断面図 S=1:50



下部工断面図 S=1:100



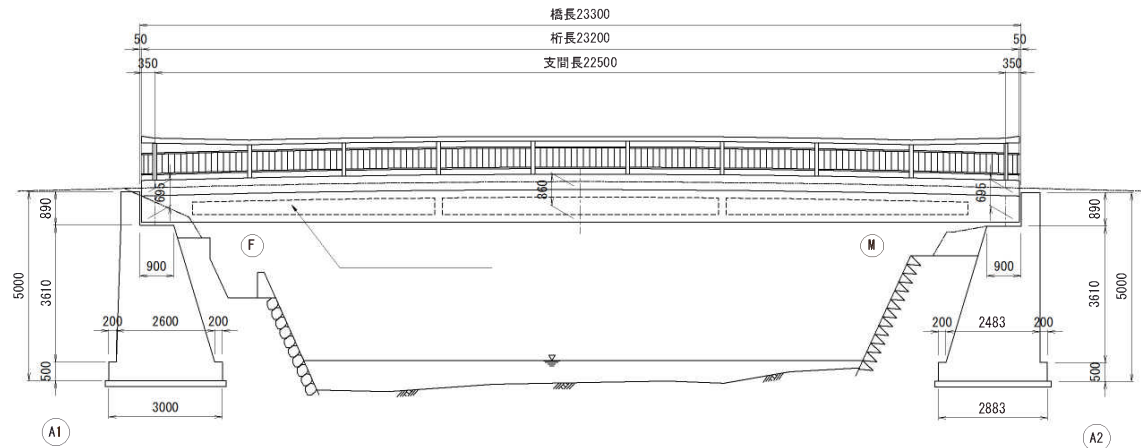
(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

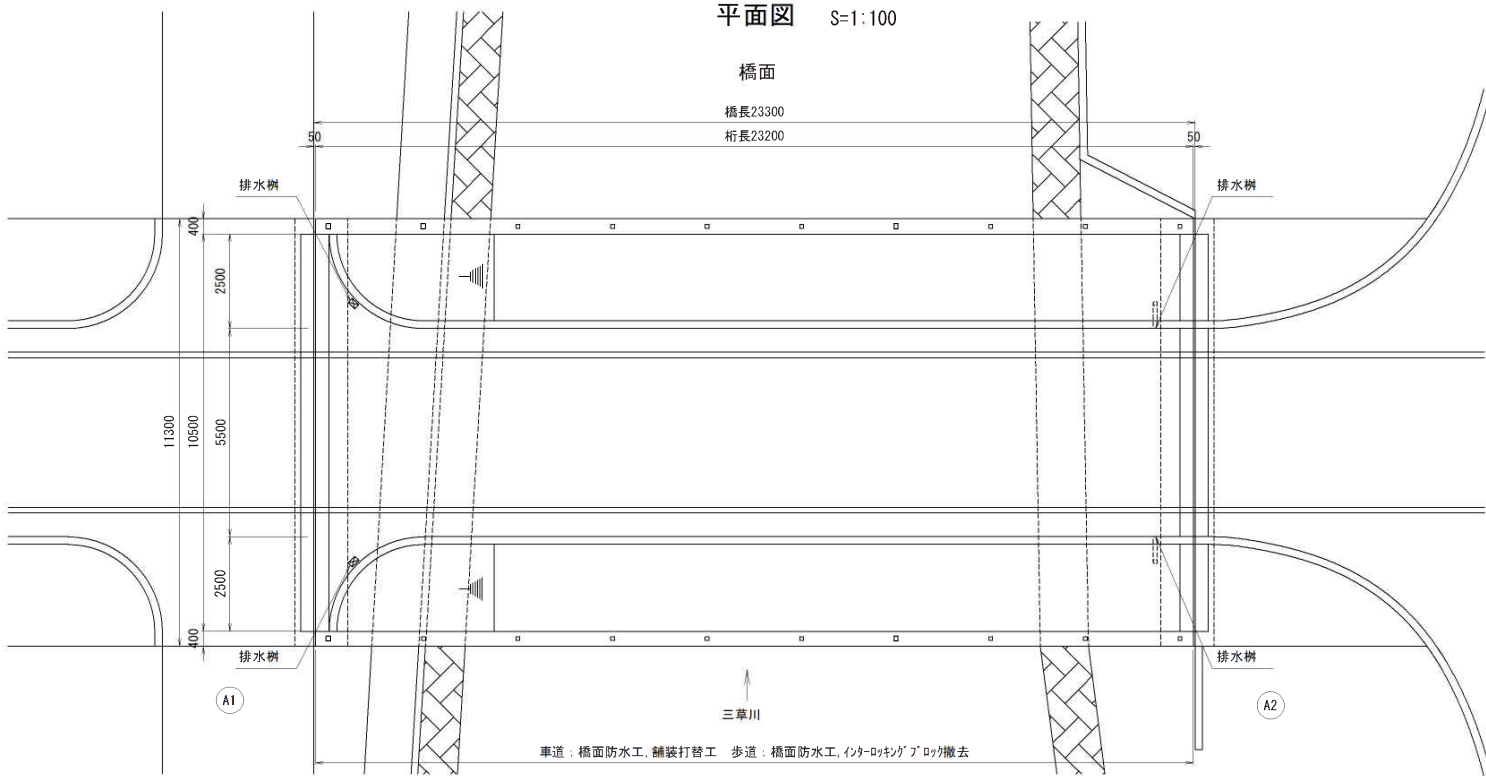
橋梁諸元	
橋 種	ポストテンション方式PC単統箱桁橋
適用示方書	昭和53年 道路橋示方書
規格・設計荷重	TL-14
橋 長	23.300m
桁 長	23.200m
有効幅員	車道 5.500m 歩道 2.500m + 2.500m
下部工及び基礎工形式	橋台：重力式橋台 基礎形式：直接基礎
竣工年月	平成2年

陣屋橋 補修工一般図

側面図 S=1:100

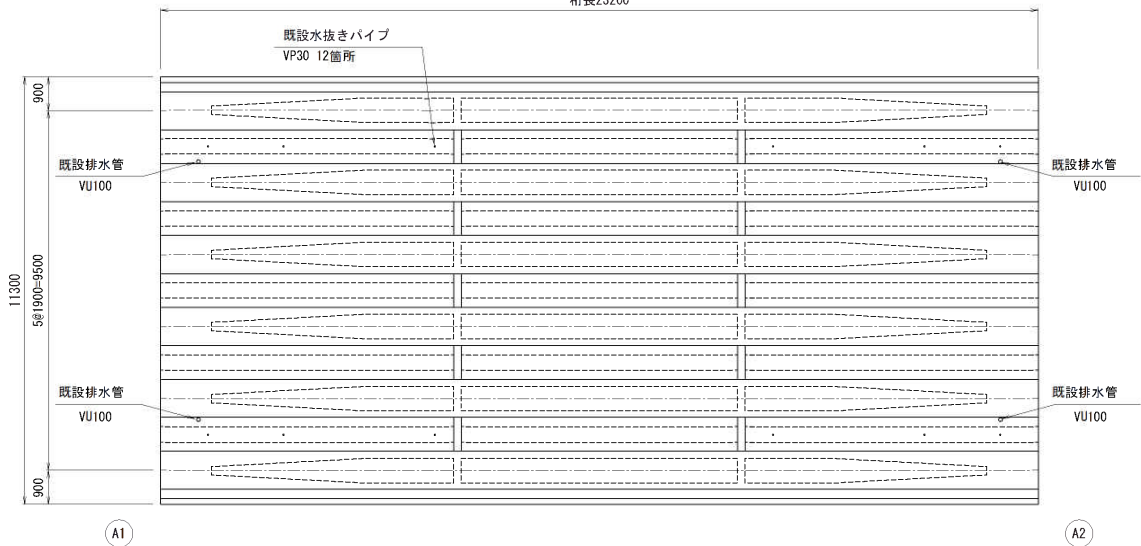


平面图 S=1:100

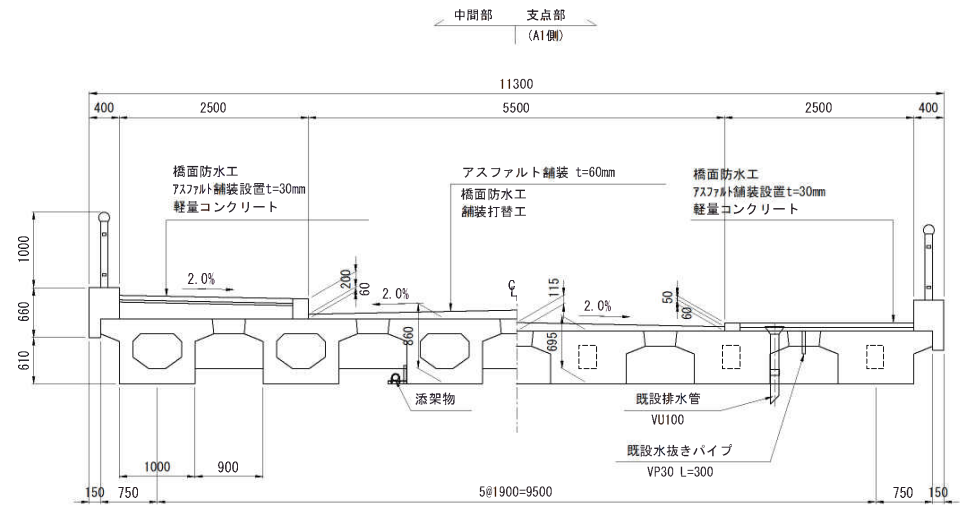


析下面

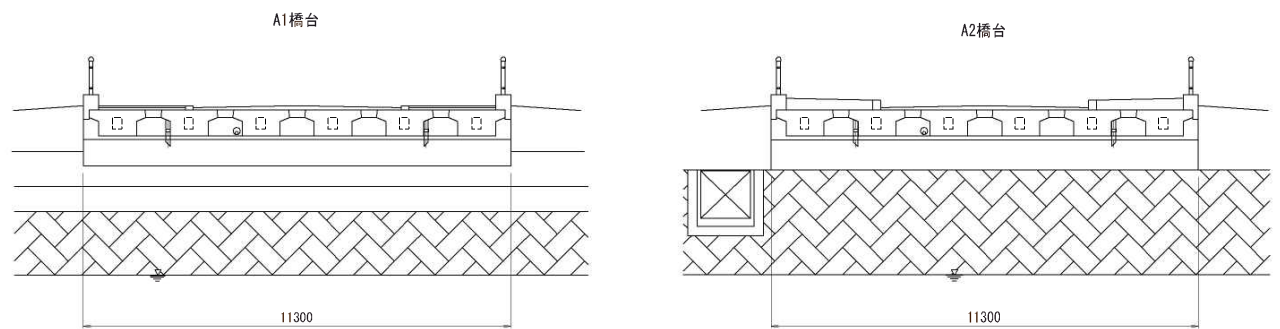
桁長2320



上部工断面图 S=1:50



下部工断面図 S=1:10



補修箇所一覧表

対象部位	損傷内容	補修項目
主桁	漏水・遊離石灰	橋面防水工
床版	漏水・遊離石灰	橋面防水工
路面		舗装打替工、橋面防水工

(注意事项)

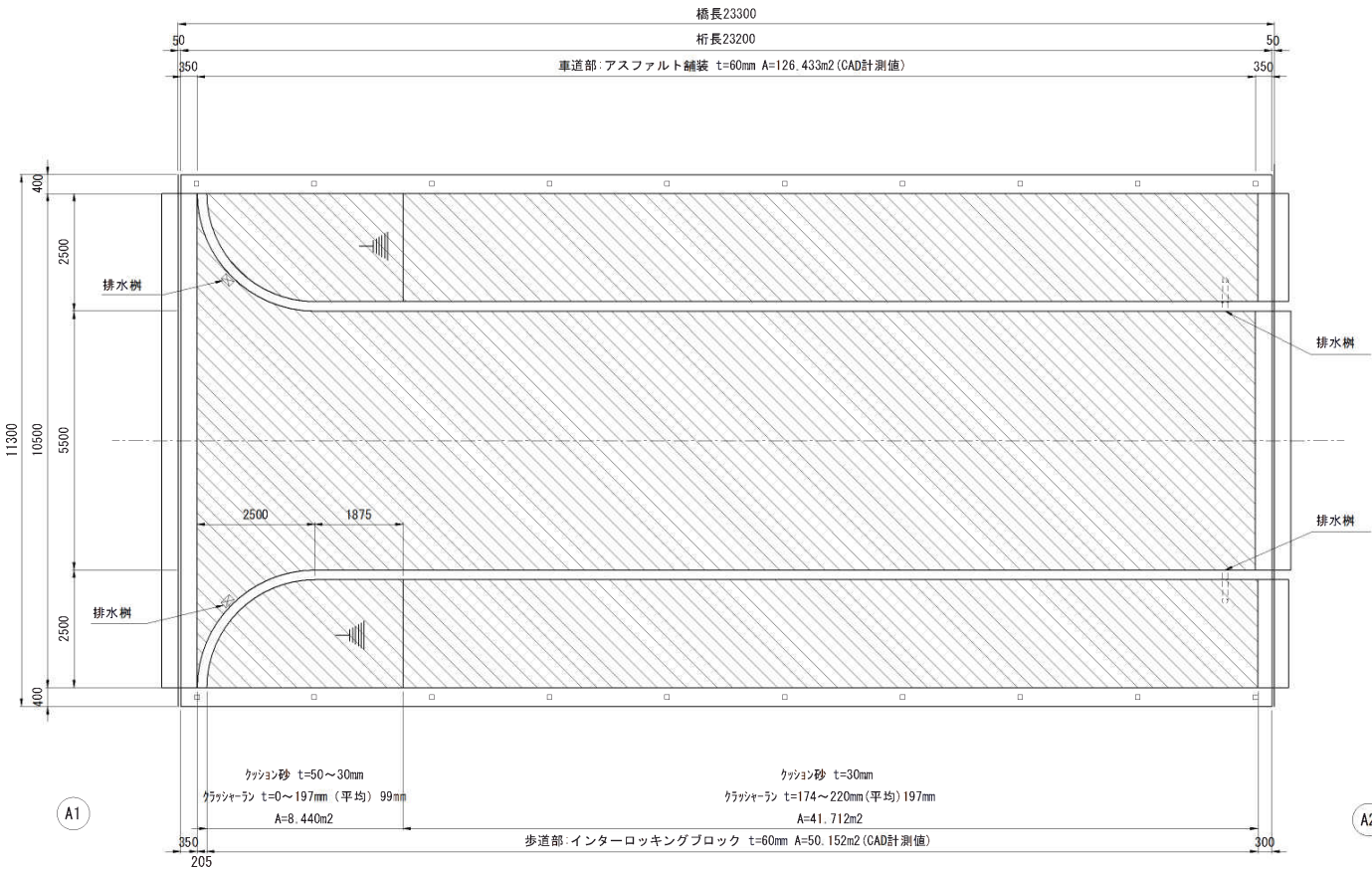
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

設計条件

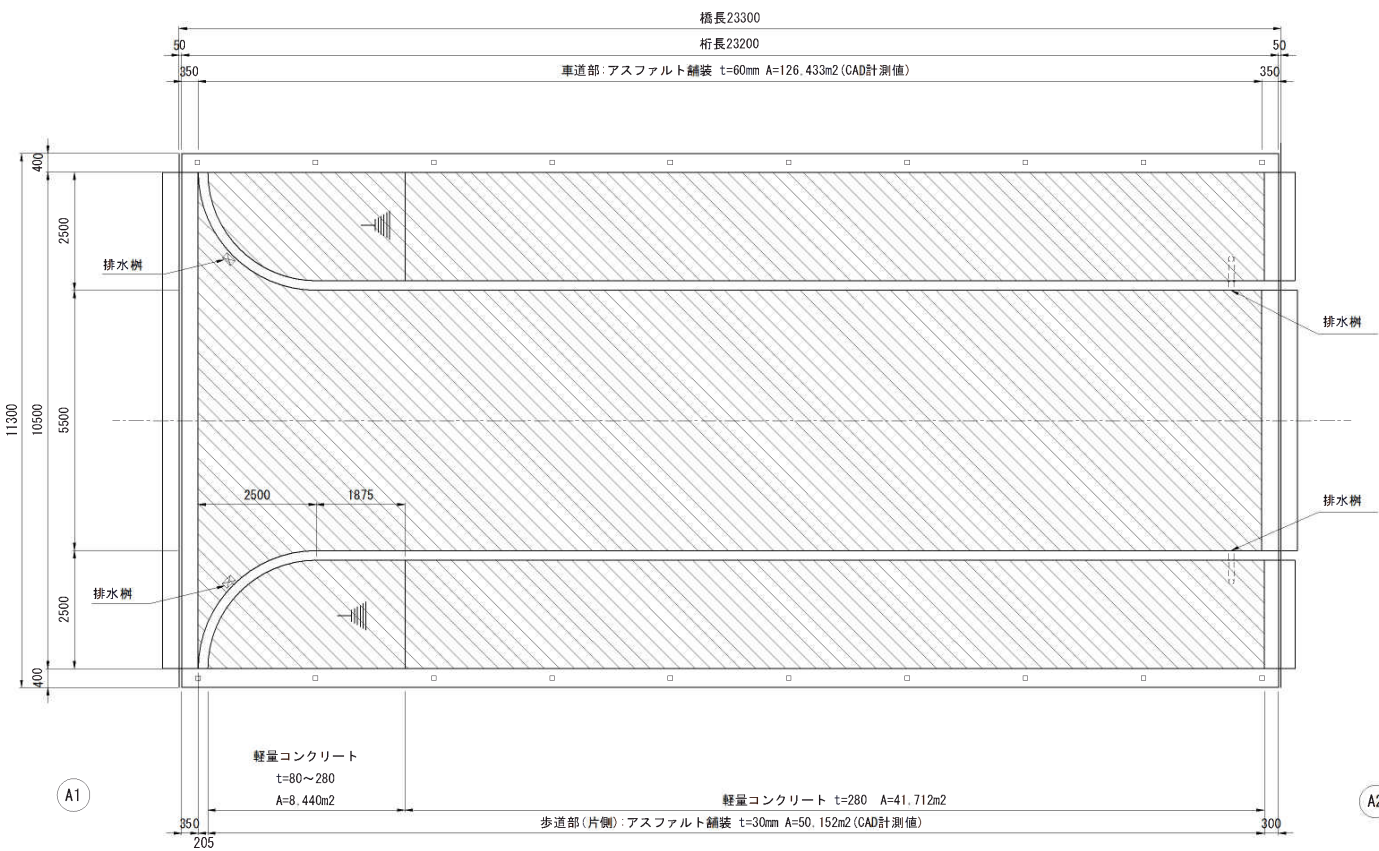
橋梁諸元	
橋 種	ポストテンション方式PC単純箱桁橋
適用示方書	昭和53年 道路橋示方書
規格・設計荷重	TL-14
橋 長	23.300m
桁 長	23.200m
有効幅員	車道 5.500m 歩道 2.500m + 2.500m
下部工及び基礎工形式	橋台・重力式橋台 基礎形式：直接基礎
竣工年月	平成2年

陣屋橋 補修図(その1)

平面図 S=1:80
舗装撤去工図(現況図)

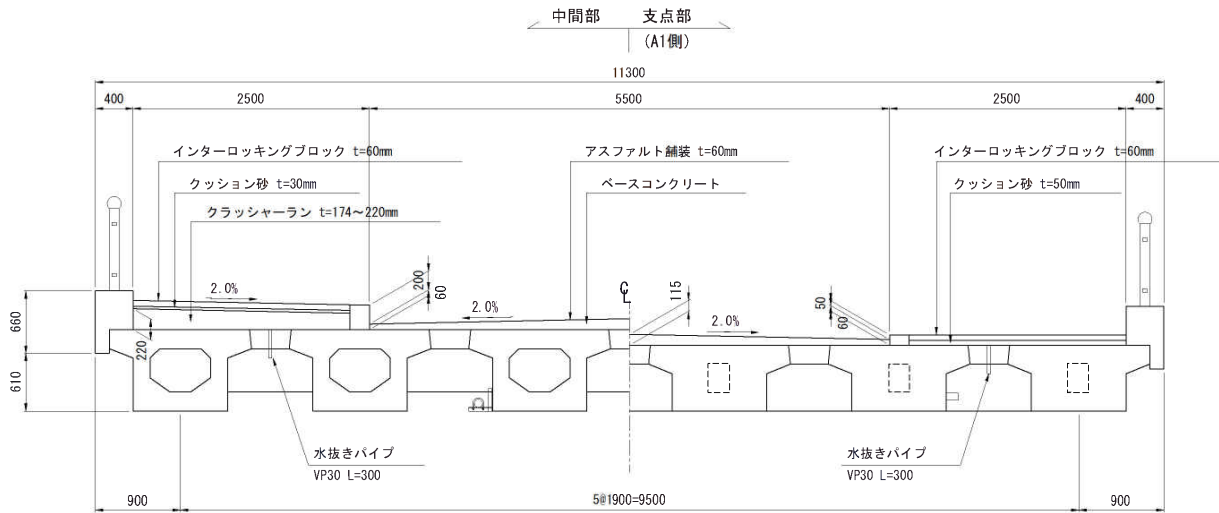


舗装復旧工図

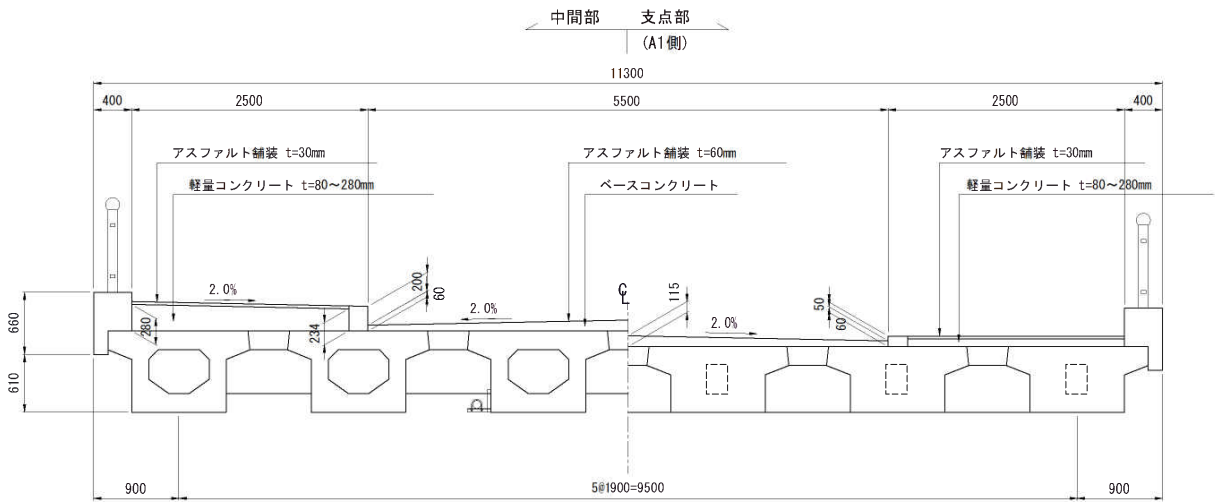


- 橋面補修工(1) -
舗装打換工

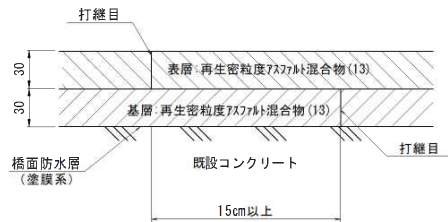
上部工断面図 S=1:50
舗装撤去工図(現況図)



舗装復旧工図



舗装構成詳細図



※ 歩道部は表層のみとする。

舗装打換工

(A1～A2径間)					
名 称	仕様・寸法		単位	数 量	備 考
撤去工	アスファルト舗装	車道側	m ²	126.4	路面切削 t=60mm
	インターロッキングブロック	歩道側	m ²	100.3	t=60mm
	クッション砂		m ³	3.18	t=30～50mm
	クラッシャーラン		m ³	18.10	t=0～220mm
復旧工	表層:再生密粒度アスファルト混合物(13)	車道側	m ²	126.4	t=30mm
	基層:再生密粒度アスファルト混合物(13)	歩道側	m ²	126.4	t=30mm
	表層:再生密粒度アスファルト混合物(13)		m ²	100.3	t=30mm
	軽量コンクリート		m ³	26.40	t=80～280mm

<注記>

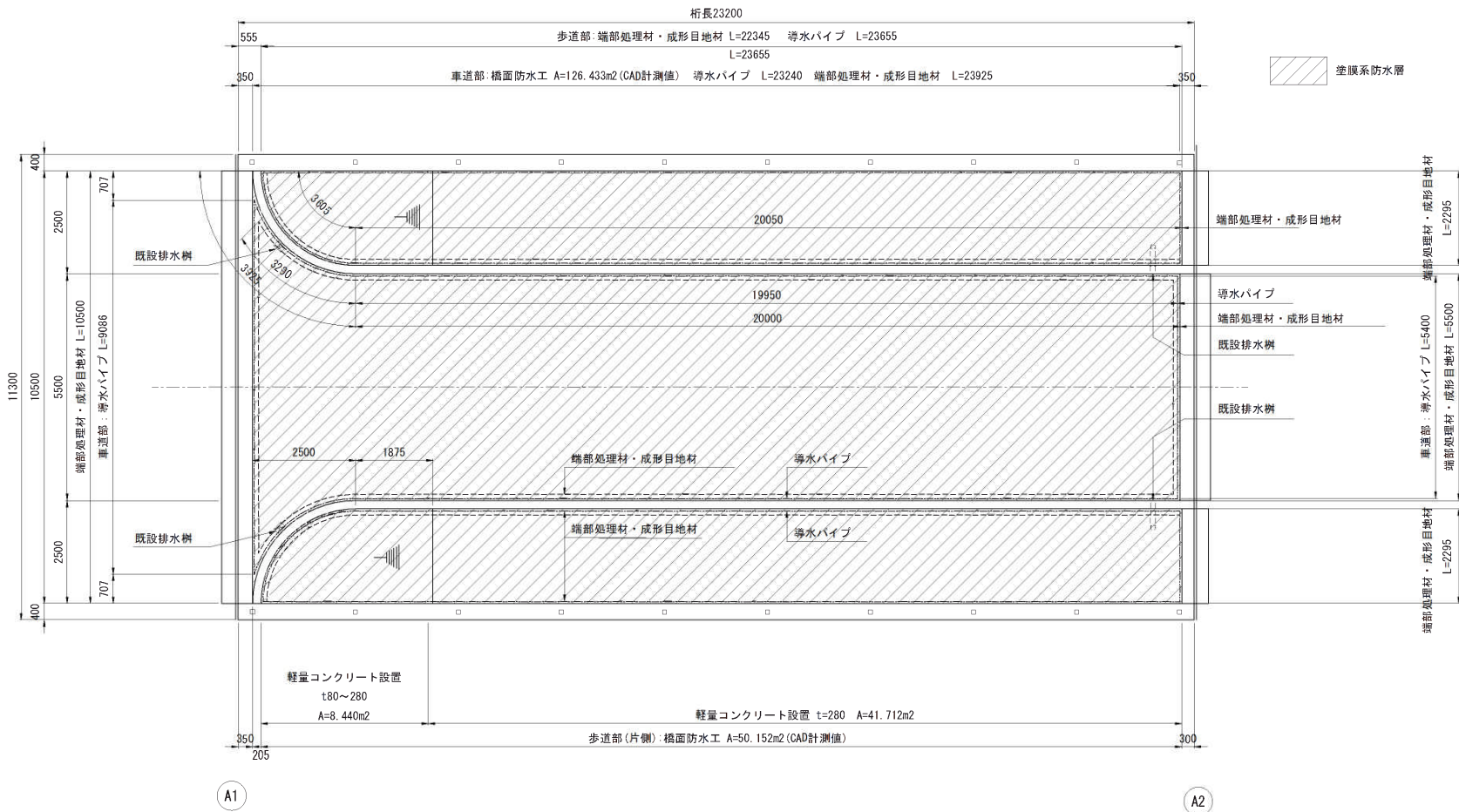
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。
- 全面通行止め規制を行い施工すること。
- 舗装切削前に既設舗装厚を確認し、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
- 軽量コンクリートの設計基準強度は18N/mm²とする。

陣屋橋 補修図(その2)

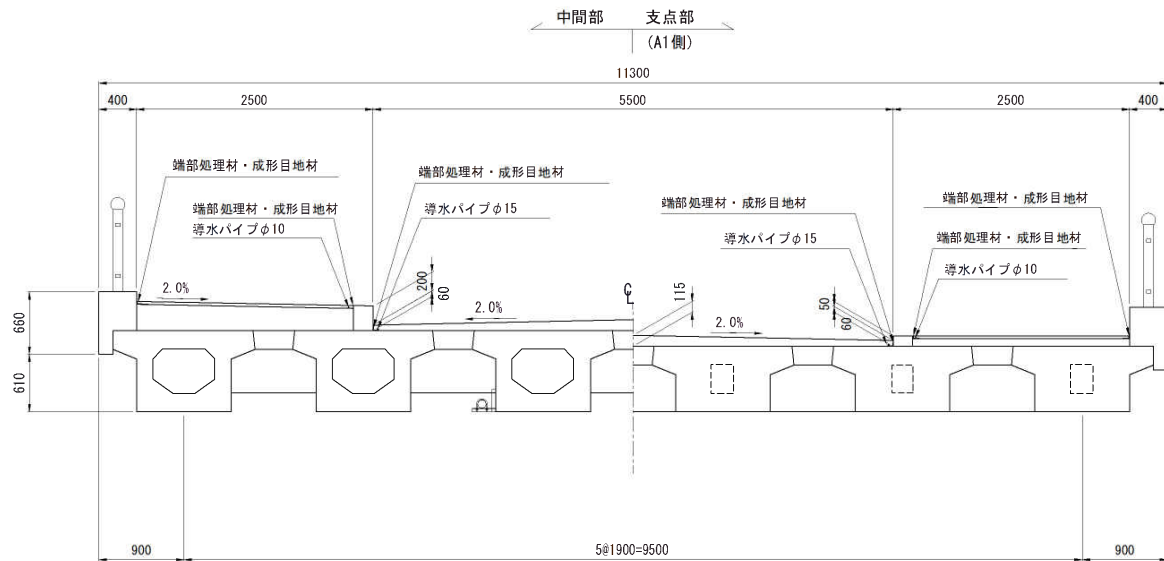
- 橋面補修工(2) -

橋面防水工

平面図 S=1:80

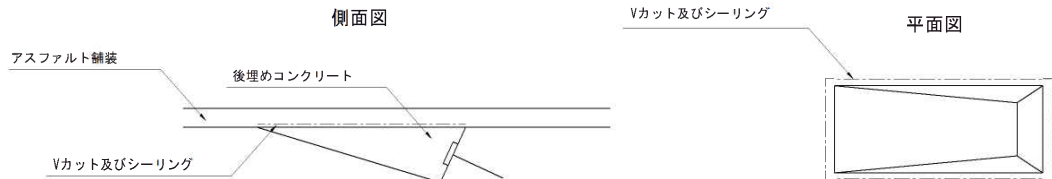


上部工断面図 S=1:40



上縁定着部切り欠き形状(想定)

S=1:10

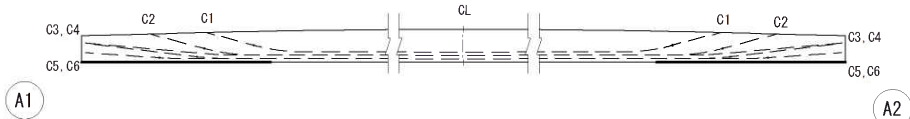


注)上縁定着部切り欠き後、埋め部のシーリング処理
舗装撤去後、定着切り欠き部で後埋めコンクリートの止水材に問題がある箇所は
Vカットして周囲をシーリング(エポキシ樹脂等)すること。

グラウト再注入工要領図(参考図)

側面図 S=1:100

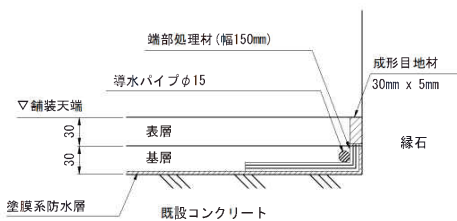
G1~G6桁



端部処理構造図

S=1:5

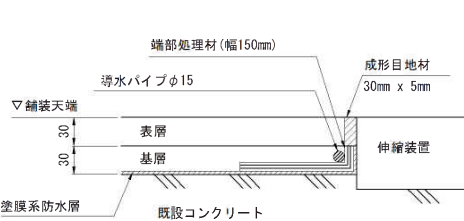
車道部



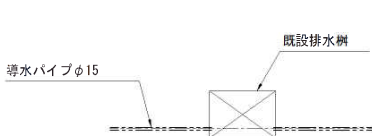
伸縮部端部処理構造図

S=1:5

車道部



排水詳細

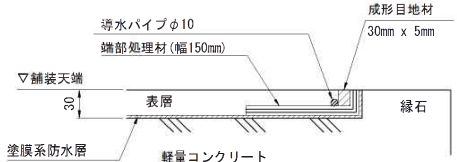


※) 導水パイプについては、排水樹に接続すること。
排水管は、排水樹内まで挿入すること。
注)車道部及び歩道部の導水管水処理は、中間水抜きパイプの設置が
困難(PC桁を傷めるため)であるため、端部既設排水に接続する。

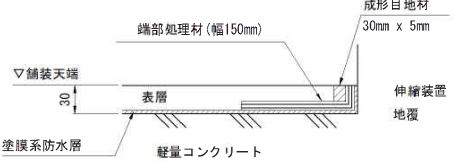
端部処理構造図

S=1:5

歩道部(縁石部)



歩道部(伸縮部及び地覆部)



橋面防水材料表

(1橋当たり)

名 称	規 格		単 位	数 量	備 考
橋面防水	塗膜系防水層	車道部	m2	126.43	
		歩道部	m2	100.30	
導水パイプ	φ15 耐熱性樹脂 φ10 耐熱性樹脂	車道部	m	60.97	
		歩道部	m	47.31	
成形目地材	セリン®SSF-7 同等品以上	車道部	m	63.85	幅30mm、厚5mm
		歩道部	m	96.59	
端部処理材	シルバーメッシュ 同等品以上	車道部	m	63.85	幅150mm
		歩道部	m	96.59	

<注記>

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。
- 全面通行止め規制を行い施工すること。
- 工区間のとりあいは、塗膜系防水層を重ね合わせて施工すること。

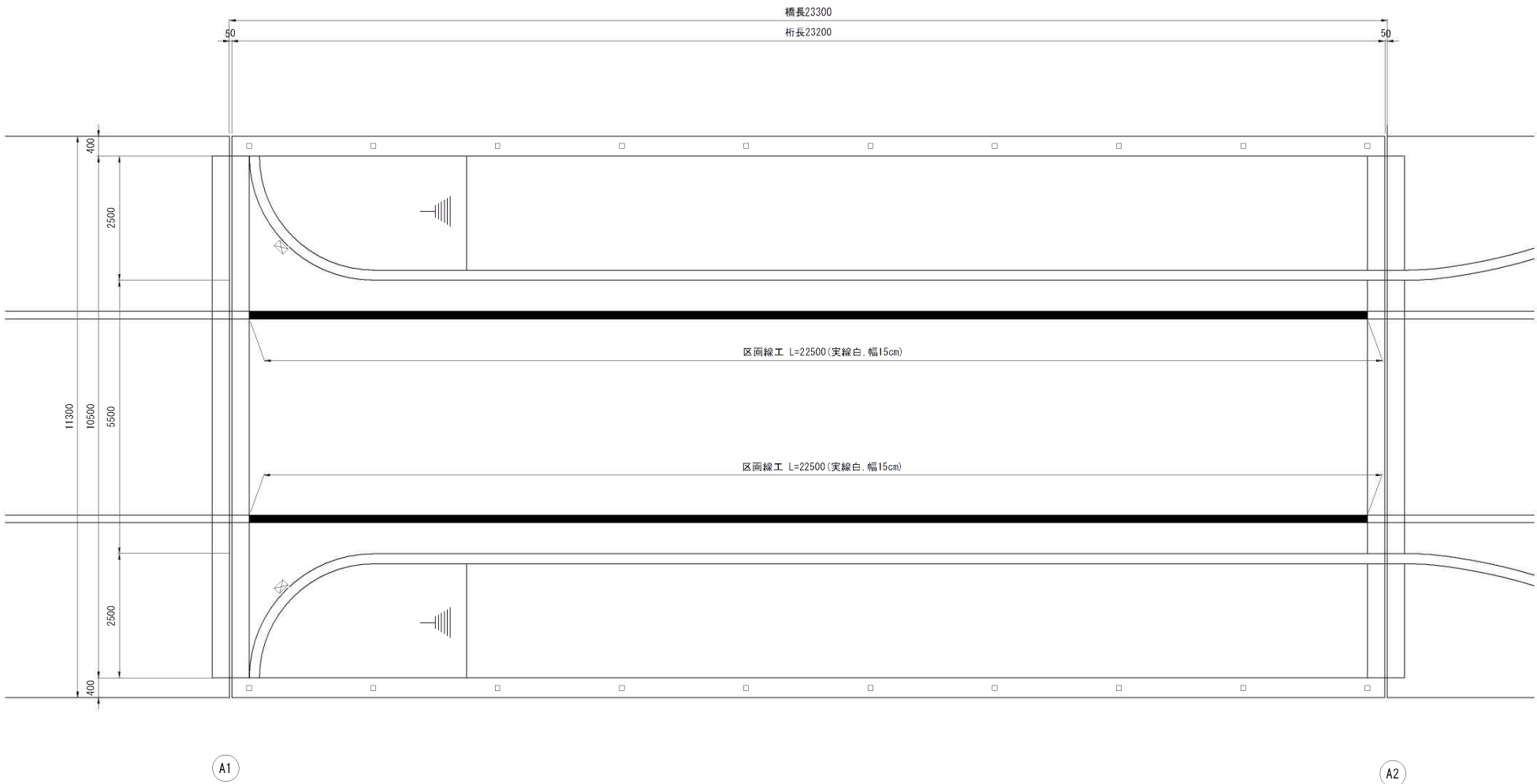
令和7年度 陣屋橋橋梁補修工事 道路メンテナンス事業		
市道 陣屋橋線		
加東市 上三草 地内		
陣屋橋 補修図(その2) 橋面補修工(2)	5	葉全
縮尺 図示		6
加 東 市		

陣屋橋 補修図(その3)

- 橋面補修工(3) -

区画線工図

平面図 S=1:60



区画線工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
区画線	白・実線 15cm / t=1.5mm	m	45.00	外側線

＜注記＞
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

令和7年度 陣屋橋橋梁補修工事 道路メンテナンス事業		
市道 陣屋橋線		
加東市 上三草 地内		
陣屋橋 補修図(その3) 橋面補修工(3)	6	葉全
縮尺 図示		6
加 東 市		